

学校教育目標（本校の生徒像）	重点目標（中・長期的目標）
1. 常に進歩のため問題をもってことにつく 2. 常に成功の可能性を確信してことに当たる 3. 常に協調融和の精神をもってことを行う	1. いじめ・体罰の根絶と、安心・安全の学校づくり 2. 個に応じた進路指導と生徒の進路実現及び学習集団づくり（進路指導） 3. 基本的な生活習慣の育成と人間性の向上（生活指導） 4. 自主的に活動できる態度の育成（生徒会・自主活動など）
今年度の重点目標	進路指導について 1 個々の生徒の進路希望実現のために、きめ細かい個人指導体制を確立する。 2 自主的・積極的に学習に取り組む生徒集団の育成を図る。 3 進路行事の充実を図り、高大接続に係る新入試制度に対応できるよう、情報が保護者に伝わるようにする。
	生徒指導について 1 南高生に相応しい身だしなみと生活を確立させる。 2 暴力行為といじめおよび類似行為を根絶する。 3 盗難（金品、自転車等）事件を根絶する。 4 社会的マナーの向上を図る。 交通安全意識の向上、交通ルールを遵守、挨拶の励行
	生徒会活動 自主活動について 1 生徒会の諸活動を通じて、主体性、自立性、協調性、自治の精神をはぐくむ。 2、生徒会の諸活動を通じて、平和で民主的な国家の形成者としての資質を身に付ける。 3、生徒会活動とリわけ部活動を通じて、集団の中で心身ともに健全な生活を生活を通して築くための基盤をつくる。 4、地域や社会の課題を見出し、地域社会に参画し貢献できる資質を養う。

A：十分 B：おおむね十分 C：やや不十分 D：不十分

領域	対象	実施項目／目標	評価の観点・方法	評価	成果と今後の課題等
教育活動	進路指導	進路希望調査、生徒面談、保護者懇談	学級担任、教科担任への聞き取り調査による評価	A	年2回の進路希望調査を行い実態把握を行っている。1年生では地区懇談会や学年PTAを行うことが出来なかったため、12月に保護者懇談を全員と行うこととし、進路の話題を三者で共有した。
		模擬試験の活用			経年比較をしながら、学習計画を立てている。受験後に復習をさせることが課題である。データは個人懇談で活用し学習アドバイスを行っている。
		新テスト、高大接続等に関する職員の情報共有と研究	職員会等を通して、カリキュラムに活かすことができた。		コロナの影響で学習進度について心配されたが、何とか共通テストに間に合うようにカリキュラムを終わらせることが出来た。ただし、深い内容まで踏み込めなかった部分があり残念である。進路に関する状況と日程の変化は現3年生にとって、かなりの負担になったことは間違いない。
		進路講演会等による進路決定のサポート			進路イベントの1日大学、大学訪問、個別訪問見学、進路講演会、夢ナビ、各大学のオープンキャンパスが中止になった。1学年では代替の大学とのオンライン説明会、岡谷市役所の協力による企業の説明会、ようこそ先輩を実施し、職業観は高められたと思われる。2学年では信州学を実施し長野県について一人一研究を行っている。3年生はオープンキャンパスへの参加が出来なかったため、進路決定に不安を持っているが、何とか学校案内やHP等を活用しながら研究を進めることが出来た。
		「学習の手引き、進路ノート、進路の手引き」の発行	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。		3学年向けの「進路の手引き」は自己の進路研究と面接練習などによく活用されていた。
		出願、面接、小論文指導（3学年）		面接指導、小論文指導は全職員で実施し、出願に関しては3学年の担任と進路係が協力し行った。それぞれ職員の得意分野を活かして、チームワークよく行えたおかげで生徒はかなり人間的に成長を遂げることが出来たと思われる。	
		学年合同LHRの実施		回数は例年よりも少なかったが、場面に応じて実施し、教員と生徒、生徒同士の共通理解を図ることができた。	
	学力向上	補習、セミナー、学年の時間、テスト前学習等の実施		毎朝15分間の学年の時間を活用し、基礎的な事項の定着を図ることが出来ている。特に3学年では年間を通してのセミナー（進学のための補習授業）へ多くの生徒が参加し力を付けてきている。1・2学年ではテスト前の、質問のできる学習空間を作り対応した。	
		入試・模擬試験の分析と授業方法の改善 特編授業 家庭学習時間確保のための取組	家庭学習時間等調査、個人面談で評価する。	A 共通テストで求められている内容を想定し、授業の中や補習授業（セミナー）で対応を試み成果を上げることができた。 学年末考査終了後、次年度に向けた特編授業を計画し実施した。 6月と12月に実施している。傾向は変わらないが、将来の目標が定まらないことが、学習量の増えない原因があると思われる。	
	研究・研修	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の研究	生徒アンケートにより評価する。	B	ICT機器が導入され、支援員の援助を受け、各教科で積極的に活用している。
進路研究会（職員対象）の実施		職員アンケートにより評価する。	A	今年度は年度中に実施が出来なかった。必要なことは職員会で確認し、年度末に進路情報交換会を実施した。	
新教育課程の検討		ビジョン委員会と連携して検討することができたが評価する。	A	ビジョン委員会と相談の上、新教育課程を編成することができた。	
進路実現のための生徒の希望に添った選択科目講義の編成		効果的な講座編成の見直しが行われたかを評価する。	A	生徒希望に沿って来年度講座編成を行った。	
南高生にふさわしい身だしなみとなるよう指導する いじめ・暴力行為の防止に努める		身だしなみの乱れはなかったか。 いじめ・暴力行為はなかったか。	A	全体としては良好である。 現在は見られない。未然防止・早期発見に努めたい。	
生徒指導	交通安全を徹底する 携帯電話、SNSの適切な使用方法を指導する 無断アルバイトがないよう努める 飲酒・喫煙・薬物防止の指導をする 盗難防止及び現金・貴重品の管理を徹底する	自転車事故等の件数を最大限に抑えられたか。 携帯電話、SNSの使用にあたって問題はなかったか。 無断アルバイトはなかったか。 飲酒・喫煙はなかったか。 現金・貴重品の管理を徹底できたか。	A	登下校時の事故が数件あり大事に至っていないが、今後も注意喚起が必要と考える。 他校生徒のつながりから、SNSに関わるトラブルが2件あった。 今のところ報告はない。3年生の自宅研修時も含め指導して行きたい。	
	委員会活動の企画・運営と活性化、生徒会各種行事の企画運営 部活動の活性化および活動の広報 全校の応援意識の促進 南高祭の企画と運営 学校生活の改善に向けた取組 AHSなどの地域貢献活動の推進	主体的に創意工夫のある企画運営ができたか。 活発な活動が持続的に行われ成果を上げることができたか。 全校生徒が主体的にかかわっての企画運営となつたか。 学校生活の改善に向けた意識が持てたか。	A	今年度は現金も含め盗難被害報告はない。私物の管理も含め今後も注意していきたい。 コロナ禍の下での企画運営を工夫して実施できた。 コロナ禍の下で感染症防止に努めつつ、活発に活動できた。上位大会は中止が多かった。 コロナ禍の下で縮小実施したが、工夫した企画で成功させることができた。 全校生徒からの改善アンケートを実施するなど取り組みを進め、成果もあげた。	
行事	進歩大会の企画運営	積極的に地域社会に参画できたか。	A	コロナ影響で取り組みが遅れたが、積極的に取り組んでいる。 コロナ禍の中、スタートからの密を避ける意味から実施が難しいことと、例年お願している、同窓会、PTAの関門・通行指導が厳しいこともあり中止とした。	
学校運営	授業公開の実施	PTA総会の日前おおよび12月の公開授業週に加え、本年度も諏訪地区中学校職科研修員10月14日を公開授業として設定する。これらの機会を通じ、参観者の要望・意見を十分に吸収し、それを授業に反映させることができたかどうか。 また、中学生や保護者に本校を理解してもらうことができたかどうか。	A	4月のPTA総会の午前中の授業公開はPTA総会も含めて中止とした。10/14（木）は中学生102名、保護者7名と例年になく中学生の参加が多かった。12月にも実施を予定している。アンケートからも本校を強く志望している様子が向え来年度以降も継続していきたい。	
	体入れ学の実施 本校の特徴についてわかりやすく説明し、多くの中学生に本校を志望してもらえようとする	参加した中学生に、本校の魅力を知ってもらい「よかった」「参考にしたい」と思ってもらえたかどうか。	A	7月実施予定を9月に延期し実施した。例年の授業見学は行わず、授業体験の形式で行った。中学生570名、保護者68名、引率の先生16名の計640名以上の参加で、参加者数は大幅に増加し、内容的に他校との比較でも中学生に大いに満足できるものであったことがアンケートからうかがえた。更に充実させた。アンケートでは98%が「参考にしたい」と回答しており成果があったと考える。	
	地域・他者との交流活動	海外からの修学旅行生や、各種視察の受け入れ 地域で開催される行事への生徒の参加の促進	海外の修学旅行生や各種視察を迎え、本校生徒との交流、学校紹介が出来るものであったかどうか。 生徒会執行部をはじめ委員会やクラブなどによる地域事業への参加を促進することができたかどうか。	B	今年度は海外の修学旅行生の受け入れはなく、交流は実現していない。例年行われている生徒会執行部の岡谷市と連携による粟倉公園のイルミネーションなどへの関わりや、多くのクラブが放課後子ども教室、老人福祉施設訪問や、理科実験、予備校訪問かななどの地域交流や異年齢交流の機会がコロナ禍で失われたことは非常に残念であった。来年度以降は昨年度並みに実施を計画していきたい。
広報活動	学校公式webページの管理・更新 教育活動や各種イベント等の情報発信	webページの更新を頻繁に行うことができたかどうか。 新聞などさまざまなメディアを利用して本校の活動実績を広く宣伝することができたかどうか。	A	今年度は学校行事が精選される中、実施できたものに関してHP上の「トピックス」「学校からのお知らせ」の更新を進めた。 新聞などさまざまなメディアを利用して本校の活動実績を広く宣伝することができた。 例年どおり一報紙を通じての情報発信を行うとともに、諏訪地区全中学校に多数の「岡谷南学校案内」を届け、志望を求めている中学生に見て頂けるようにした。	